

第21回「URUZO!」WG議事録

日時：2019年11月1日 19:00～21:00

場所：ふれあい歯科ごとう

出席：五島先生（ふれあい歯科ごとう）、佐々木副理事長（NPO法人こつこつ）、稻山様（翔舞会）

藤崎（日本介護食品協議会）、的場（ハウス食品）、木田（マルハニチロ）、鈴木（ヤヨイサンフーズ）
(敬称略)

■JR 東京総合病院様での試食会及び退院時のサンプル配布について

南先生より、回答をいただきました。

- ・院内試食会については不可。
 - ・栄養管理室でのサンプルセットの紹介は可能。
- サンプルを3セット程度、ヘルシーフード様に託してくださいとのこと。

★ヘルシーフード様への依頼について

- ・藤崎さんよりヘルシーフード 黒田社長に連絡をしていただき、対応の許可及びJR 東京総合病院様の担当者を紹介いただく。
- ・許可いただいた場合、サンプル受け渡しの方法をヘルシーフード担当者と打合せ。
例1：メーカー、商品を指定してヘルシーフード様でサンプルをセットアップしていただく。
例2：URUZO！でサンプルセットしたものをヘルシーフード様に送付する。
- ・アイテムについては、URUZO！で選定する（ヘルシーフード様登録品。常温のみ）。
- ・セット方法については、前回、南先生より区分ごとに作った方が良いとの意見があったが、再確認する。

■障害者（児）へのUDF商品の紹介について

佐々木副理事長、稻山様と、障害者（児）の食について意見交換を実施。

- ・障害者はペースト食を召し上がっているケースが多いため、見た目ややわらかさに配慮したUDF商品を紹介してはどうか。
- ・外出のときは、タッパーにペースト食を入れて持参したり、ハンディミキサーを持参して出先で作っている。
- ・障害者及びその関係者にとって、UDF商品の認知度は低い。
- ・在宅の場合はヘルパー経由で情報を得ることはできる。
- ・支援学校からUDFの紹介を依頼されたことはあるが、卒業後はどのように情報をとるのか不明。
- ・障害者は、生まれた時からペースト食のため、温度帯の異なる食事や固形物を食べないことがある。
(幼児期の食経験がないため、いつもと異なる形態に抵抗がある。)

ただ、家族が固形の食事を美味しそうに食べているのを見て、自分も食べてみたいと感じる人もいる。

- ・中途障害者と生まれつきの方とでは食に対する想い（考え）が異なる。
- ・過去の展示会（HCR、ヘルシーフード様）では、フルーツゼリーやプリンが好評。
- ・家族同士で食について話し合う機会は少なく、食について課題をもっている家族はいないように感じる。
現状を当然と思っている可能性もあるのでは。
- ・食事量が少なく、やせている方も多く見受けられるため、低栄養の問題はないのだろうか。

★今後について

- ・まずは、UDF商品を召し上がっていただけるか、試食会のようなものを開催してみる。
 - ・3/22（日）タベマチまつりで試食会を実施したらどうか。
- 五島先生より、もう少し小規模の試食会にした方が良いとのご意見をいただく。
(こつこつ内での試食会など)

■次回テーマ

- ・JR 東京総合病院様へのサンプルセットについて
- ・『こつこつ』様との連携、及び、障害者への取り組みについて

■次回 2019年12月10日（火） 20:00～@ふれあい歯科ごとう

以上

議事録作成：㈱ヤヨイサンフーズ 鈴木智子

議事録確認者：URUZO！